

# 社団法人日本新体操連盟

## 平成 23 年度第 2 回総会議事録

1. 会議名： 平成 23 年度第 2 回総会
2. 日時： 平成 24 年 3 月 23 日（金）12 時 00 分～12 時 25 分
3. 場所： 東京都渋谷区代々木 2-2-1  
「小田急ホテルセンチュリーサザンタワー21 階イーストルーム」
4. 構成員現在数： 567 名
5. 出席会員数： 477 名（うち委任状出席者 468 名）  
以下出席会員  
イオン新体操スクール、イオン新体操スクールマリンピア、  
イオン新体操スクール行徳校、イオン新体操スクール船橋校、  
イオン新体操スクール八千代緑が丘校、  
ウーマンズ新体操クラブ、Sweet ピュア R.G、ピュア R. G、  
R i b b o n 新体操クラブ
6. 欠席会員数： 90 名
7. 出席役員： 二木 英徳（会 長）朝倉 正昭（副 会 長）石崎 朔子（副 会 長）  
福本 隆（副 会 長）関田史保子（常務理事）渡辺 守成（常務理事）  
秋山エリカ（理 事）池田真喜子（理 事）岡 久留実（理 事）  
橋本 千波（理 事）藤島八重子（理 事）  
荒井 隆（専務理事）上村 郁代（理 事）崇島 慎一（理 事）  
谷口 裕代（理 事）谷原 誠（理 事）山崎 浩子（理 事）  
田中 元（監 事）  
以上 17 名（うち委任状出席 6 名）  
その他監事 1 名（うち委任状出席 1 名）
8. 欠席役員： 岩本 晃（監 事）  
以上 1 名
9. 議案：  
決議事項  
第 1 号議案 平成 24 年度事業計画について（定款第 5,29,38 条関連事項）  
第 2 号議案 平成 24 年度収支予算について（定款第 29,38 条関連事項）  
第 3 号議案 その他
10. 議事の経過及び結果
  - (1) 議長による開会宣言  
（社）日本新体操連盟・定款第 28 条の定めにより議長を会長二木英徳が務め、開会宣言を行った。
  - (2) 定足数の確認  
定款第 30 条により総会出席者数委任状含めて 477 名であることが福本隆副会長より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。
  - (3) 議事録署名人の選出  
定款第 32 条により、議長は議事録署名人を朝倉正昭副会長と石崎朔子副会長にする事を議場に諮り承認された。
  - (4) 議決事項  
第 1 号議案 平成 24 年度・事業計画について（定款第 5, 29, 38 条関連事項）  
議長は説明者として石崎副会長を指名し、石崎副会長は下記内容の説明を行った。

1. 平成 24 年度年間事業計画について

23 年度と大きな変更点はなく、但し、例年本連盟事業のメイン会場として使用している「東京体育館」が 7 月から 3 月まで全面改修工事に入る為、「クラブ選手権」「団体選手権」「チャイルド選手権」を千葉ポートアリーナ、「イオンカップ」を代々木第一体育館にて開催する予定としている。

2. 第 21 回全日本新体操クラブ選手権について

「第 21 回クラブ選手権」を 8 月 24 日から 26 日にかけて開催する。出場年齢、獲得出場権等ほとんどの内容は 23 年度と同様とする。

種目はシニア・ジュニアともにフープ、ボール、クラブ、リボン。2 部リーグはフープ、ボール、クラブとなる。

毎年 6 月 30 日がエントリー締切日であるが、昨年エントリー期日を忘れていた方が見受けられた。注意してほしい。

3. 第 12 回全日本新体操クラブ団体選手権について

「第 12 回団体選手権」を 9 月 8 日 9 日にて開催する。種目は、ローテーションにより、シニア リボン 3 フープ 2、ジュニア ロープ 5 となる

その他については、23 年度同様に開催する。

4. 世界新体操クラブ選手権について

「世界新体操クラブ選手権」を 9 月 28 日から 30 日、場所は代々木第一体育館にて開催する。種目はシニア・ジュニアともに、フープ、ボール、クラブ、リボン。その他は 23 年度同様の開催を予定している。

オリンピックイヤーでもあり、世界のトップ選手がオリンピック直後に集まることから、是非世界トップの演技を見る機会を楽しみにしてほしい。

5. 第 13 回日本新体操祭について

「第 13 回日本新体操祭」を「世界新体操クラブ選手権」と同時開催する。日程は 9 月 29 日。場所は代々木第一体育館。その他概要は前回大会同様に予定している。

大会は「世界新体操クラブ選手権」の中日に開催する為、時間に制限があり、先着順で申し込みをお断りする事がある事をご了承願いたい。

6. 第 15 回全日本新体操チャイルド選手権・第 12 回全日本新体操キッズコンテストについて

「第 15 回チャイルド選手権」「第 12 回キッズコンテスト」を 2013 年 2 月 23 日から 25 日にかけて開催する。開催方法は第 14 回大会同様とする。

座席指定について自由席を希望の方もいらっしゃると思うが、以前自由席制度を採用していた時に席取りや混乱があったため、座席指定制度を導入している。ご理解頂きたい。

7. 平成 24 年度指導者育成セミナーについて

「審判セミナー」を各大会前に行い計 3 回、「指導者育成セミナー」を国内計 8 回、海外計 2 回を予定している。開催方法は平成 23 年度同様に予定している。

「指導者育成セミナー」では講師を国際体操連盟技術副委員長のナタリア・クズミナさんをお願いしているが、クズミナさんが FIG の会議等により海外出張が多いため、やむを得ず、講師の変更や、日程を変更するなど、セミナーを予定通り開催できないこともあることを了承いただきたい。

以上の説明の後、議長は質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第 1 号議案「平成 24 年度・事業計画」について原案通り可決承認された。

第2号議案 平成24年度・収支予算について（定款第29,38条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

平成24年度事業はほぼ平成23年度事業と同様に進める予定であり、予算についてもほぼ前年度同様のものから、実績を反映し、予算組みしている。

1. 預金利息について

預金利息は昨年20000円と計上していたが、実績が13000円程度であった為、実績に合せ7000円減の13000円と計上している。

2. 事業活動収入合計について

事業内容が23年度と同様のため、預金利子以外はほぼ同額で事業実施できる見通しである。平成24年度事業活動収入合計は23年度より、預金利子の7000円が減額された2億3367万3000円を計上した。

3. 刊行物について

機関誌「スフィード」で50万円。「ホームページ運営」で30万円支出を減らしている。外部発注を抑え、事務局でできる事は事務局で行う事として、経費の削減を図る予定。

4. 事業費支出について

以上の事から、事業費支出計を2億202円の計上をした。

5. 管理費について

24年度の支出を3410万円を計上した。

6. 合計額について

事業費支出と管理費を合わせ、2億3612万円が当期事業活動支出となり、当期事業活動収支差額がマイナス244万7000円。予備費を100万円計上して当期収支差額がマイナス344万7000円。

前期繰越収支差額1942万5374円を合わせて、1597万8374円を次期繰越収支差額とした。

以上の説明の後、議長は質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第2号議案「平成24年度・収支予算」について原案のとおり可決承認された。

第3号議案「その他」について

議長は議場にその他議案の提出を諮ったが提出されなかった。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成24年3月23日

社団法人 日本新体操連盟 平成23年度第2回総会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 朝 倉 正 昭

同 石 崎 朔 子